

# 中小企業融資

## ? なぜこの事業を行っているのですか？

台東区には、平成21年7月1日現在で26,484の事業所があり、そのうち従業員30人未満の事業所は24,969と大半を占めており、中小企業が区内産業の中心となっています。

区内産業を取り巻く状況は、産業構造の転換、経済のグローバル化、インターネットの普及など大きく変化しており、こうした経営環境の変化が資金力の弱い中小企業を直撃しています。

さらに、昨年の東日本大震災の影響で外国人観光客が減少し、外食やレジャー、ぜいたく品の購入などを控える傾向にあるため、中小企業の売上げは大幅に減少し、事業を運営していくための資金を確保することが厳しい状況が続いています。

こうした状況に対応するため、区では中小企業の経営者が少しでも金融機関から融資を受けやすくなるよう、融資あっ旋制度を実施し、中小企業の経営力強化を図っています。

## ? どのようなことを行っていますか？

区内中小企業が資金調達しやすいよう、台東区と東京信用保証協会（[☞解説①](#)）、提携金融機関の三者が協調して融資を行う制度を実施しています。

台東区は、この制度を利用して金融機関から融資を受けた企業に対して、借入金利の一部や信用保証料（[☞解説②](#)）の補助を行うことで、中小企業者の借入にかかる負担を軽減しています。

### 《台東区融資制度》

- 事業に必要な運転資金・設備資金を金融機関から新たに借入れする際の融資
- 新規に事業を始める際や事業を転換する際の融資
- すでに台東区の融資制度を利用して借入れた複数の融資を一本にまとめる際の融資

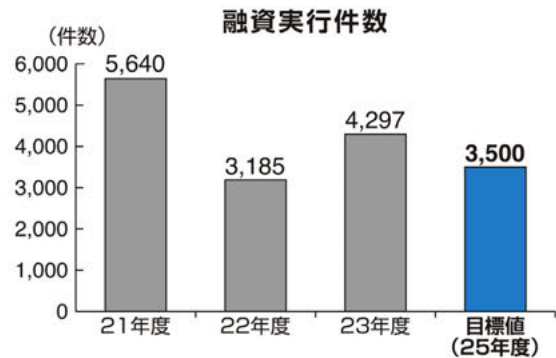
などを実施しています。



## ? 事業の進み具合はどうか？

台東区の融資実行件数は、23区内で高い水準にあります。

平成24年4月1日現在、28の金融機関（本・支店数72店）で、この融資制度が利用できます。平成23年度のこの制度の利用件数は、4,297件となっています。



(資料：産業振興課)

## ? 今後はどのように取り組んでいくのですか？

東日本大震災発生による景気後退を受けて、今後も中小企業の事業資金の確保は厳しい状況が続くと予想されており、区の支援の必要性は高まっています。

区は、こうした状況に適切かつ迅速に対応し、中小企業の維持・発展のため、今後とも既存の制度を見直しながら、より利用しやすい融資制度になるよう努めていきます。

### ■この事業に関するお問合せは■

文化産業観光部産業振興課

03-5246-1135

### 【解説】

#### ①東京信用保証協会

信用保証協会法に基づく公的機関のことです。中小企業が金融機関から事業資金の融資を受ける際に、借入れが容易になるよう保証機関となり、企業の育成を金融の側面から支援しています。

#### ②信用保証料

保証協会と中小企業者との契約に基づき、保証協会が金融機関に対し中小企業者の保証をすることへの対価としてお支払い頂くものです。

# 雇用・就業支援

## ？ なぜこの事業を行っているのですか？

長引く景気の低迷に加え、昨年は東日本大震災という大災害に見舞われ、わが国の雇用情勢は厳しい状況が続いています。完全失業率（※解説①）は平成24年4月現在で4.6%と高止まり傾向にあり、とりわけ高校・大学等を卒業しても就職できない若者の数が増えています。

このような状況の中で、誰もが自分の能力を活かし、適性に合った職業に就けるよう、ハローワーク（※解説②）などの関係機関と連携しながら、雇用・就業の支援を行っています。

## ？ どのようなことを行っていますか？

### ●雇用・就業相談

就業を希望する区民の方と求人活動に悩む区内企業に対し、専門の相談員がそれぞれの状況に応じたきめ細やかな相談を実施しています。（週4日、相談料は無料）

### ●合同就職面接会の実施

台東区、ハローワーク上野、上野労働基準監督署、東京商工会議所台東支部が共催して、年2回合同就職面接会を実施し、求職者の区内企業への就職を支援しています。また、台東区とハローワーク上野が共催し、区民館等でミニ就職面接会を年数回実施しています。

### ●就職支援セミナーの開催

卒業後、就職ができずに臨時的な就労を余儀なくされている若年者や定年を迎えても働くことを希望する高齢者、出産や育児などで一度仕事を離れた後、再就職を希望する女性などを対象とした就職支援セミナーをそれぞれ開催しています。

### ●雇用問題連絡会議の開催

雇用や労働に関して、地域の特性に応じた施策を推進するため、台東区とハローワーク上野、上野労働基準監督署、東京商工会議所台東支部による連絡会議を開催しています。

### ●情報の提供

区のホームページにおいて、雇用・就業に関するさまざまな情報を提供しています。

※このほか、台東区では緊急経済対策の一環として、雇用対策事業を実施しています。

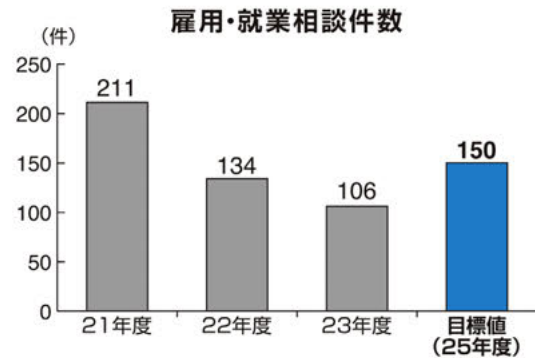


## ? 事業の進み具合はどうか？

雇用・就業相談件数は、平成20年秋に起こった世界的な経済危機により、解雇や派遣社員の契約が打ち切られるなど職を失った人からの相談が一時急増しました。

合同就職面接会は、平成23年度に2回実施し、28名の採用が決定しました。

就職支援セミナーは、平成23年度に若年者向け1回、高齢者向け1回、女性向け2回の計4回実施しました。セミナー受講者に雇用・就業相談を紹介し、セミナー後もアフターフォローに努めることで就職に結びつけています。



(資料：産業振興課)

## ? 今後はどのように取り組んでいくのですか？

雇用を取り巻く厳しい状況は今後も続くと考えられます。

区民の皆さんの生活基盤としての就業を確保するため、ハローワークをはじめとした関係機関との緊密な連携のもと、今後も相談事業や合同就職面接会、セミナー等により雇用・就業支援に取り組んでいきます。

### ■この事業に関するお問合せは■

文化産業観光部産業振興課

03-5246-1152

### 【解説】

#### ①完全失業率

15歳以上の働く意欲のある人(労働力人口)のうち、職がなく求職活動をしている人(完全失業者)の割合を示すものです。

#### ②ハローワーク

地域に密着した総合的雇用サービス機関である公共職業安定所の愛称です。ハローワークは職業相談や職業の紹介、求人情報の提供などを行っています。

# 浅草文化観光センター運営

## ? なぜこの事業を行っているのですか？

台東区には年間で約4,000万人の観光客が訪れます。浅草文化観光センターは、台東区の観光拠点として、国内外からのお客様に、区内の歴史的・文化的価値のある名所・旧跡等の観光案内や下町独自の伝統工芸や催事などを紹介しています。

平成24年4月に、地上8階地下1階建ての都内最大級の観光案内所として、浅草文化観光センターはリニューアルオープンしました。オープン後は、来館した方が自分で情報を取得できるよう観光情報コーナーを新たに設けるなど、観光客の利便性の向上を図っています。

## ? どのようなことを行っていますか？

- 来館する観光客に観光案内を行っています。外国人の観光客にも対応できるように、英語、中国語、韓国語も話せるスタッフがいます。また、外貨両替所も設置しています。
- 区の観光や産業にたずさわる団体の活動を支援するため、団体旅行客向けの支援スペースや、会議室を運営しています。
- 区の観光行事や文化、産業を紹介するために展示スペースを運営しています。
- 東京スカイツリーや浅草のまちなどの眺めが楽しめる展望テラスを運営しています。



センター外観

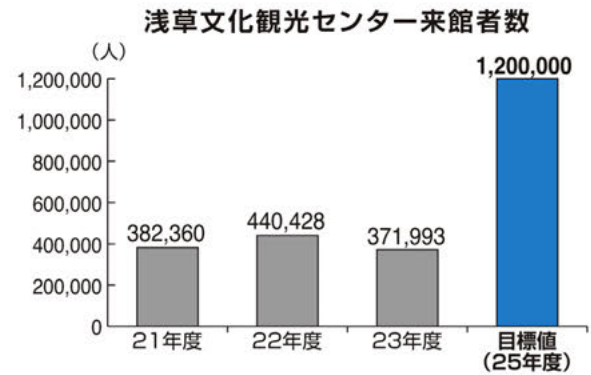


センター8階からの眺望

## ? 事業の進み具合はどうか？

平成24年4月20日にリニューアルオープンし、台東区の新しい観光拠点として営業を開始したところです。

来館者数は、リニューアルオープンから1ヶ月で10万人を超え、平成24年9月末現在で約47万1,000人のお客様にご利用いただきました。



(資料：浅草文化観光センター)

## ? 今後はどのように取り組んでいくのですか？

来館する方の多様なニーズに応えながら、区のさまざまな魅力を紹介し、足を運んでいただけるように運営していきます。

浅草文化観光センターでは、スタッフ全員が、おもてなしの心を持って、まごころのある接客対応に努めていきます。

### ■この事業に関するお問合せは■

文化産業観光部観光課  
(浅草文化観光センター)

03-3842-5501



# 台東区映像アーカイブ

## ? なぜこの事業を行っているのですか？

区民の皆さんや来街者の方などが持っている台東区内の風景や年中行事などが収められた昔の映像や写真は、台東区にとって貴重な財産です。これらの記録は、時間の経過とともにフィルムの劣化などで映写が不可能となったり、撮影者の死去等で作品が散逸する恐れが高くなっています。

これらの貴重な作品を後世に伝えるため、当時の記録を発掘して保存・活用しています。

## ? どのようなことを行っていますか？

区では、広報やホームページを通じて呼びかけを行い、映像フィルムを貸与してくれる協力者を募っています。協力者からお借りした映像を撮影時に近い状況に修復し、長い期間保存できるよう、デジタル処理を行っています。こうして蓄積したデジタル映像は、編集を行った上で、広く区民の皆さんに公開していきます。

また、平成23年から、区内在住の写真家・須賀一（すが はじめ）氏が撮影した、昭和30年代から50年代の上野公園を中心とした記録写真のネガフィルム（☞解説②）約84,000点を順次受領しています。これらのネガフィルムについてもデジタル化を進め、今後公開していきます。



僕らの夏休み（昭和34年）



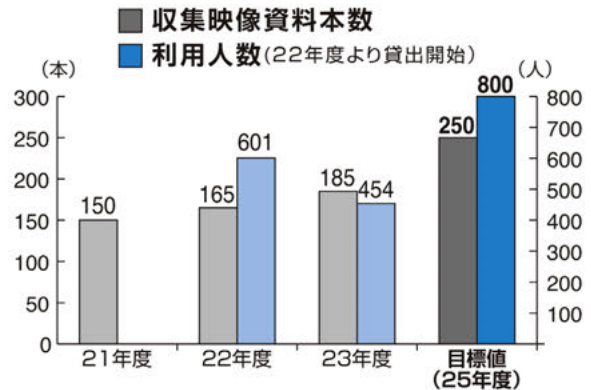
千束通り商店街アーケード完成（昭和50年）

## ？ 事業の進み具合はどうか？

事業開始以来、区民の皆さんや来街者の方から多数の映像資料を提供していただき、区が所有しているフィルム映像も合わせて、23年度末現在で192本のデジタル処理が終了しています。

デジタル化した映像は編集を行い、中央図書館等における貸出しや、ケーブルテレビでの番組放映を行っています。平成24年度からは、インターネット動画共有サービスの台東区公式チャンネルでも、作品の一部を公開しています。

また、須賀一氏から受領した作品のうち、デジタル化が終了したものの一部について、平成24年度中の公開を予定しています。



(資料：生涯学習課)

## ？ 今後はどのように取り組んでいくのですか？

区民の皆さんや来街者の方から提供していただいた映像資料や須賀一氏の作品について、引き続きデジタル化を進めていきます。

また、今後はビデオテープ等のメディアについても、調査を行い、収集・活用について検討していきます。

### ■この事業に関するお問合せは■

教育委員会（生涯学習担当）生涯学習課

03-5246-5852

### 【解説】

#### ①アーカイブ

公共性の高い記録や資料などをひとまとめにして保存することです。

#### ②ネガフィルム

被写体の明暗や色が反転した画像が作られる、主にプリント用の写真フィルムのことです。